

8月5日から7日まで、市内中学校の代表12人が広島市を訪れ、平和について学んできました。派遣中学生の皆さんの感想を紹介します。(順不同)

『広島から未来へ』

我孫子中学校

2年 来栖 健斗

「我孫子市の代表」。僕にとってこの言葉は重く、そして誇りに思える言葉でした。素直な気持ちで広島の実情を知り、受けとめ、それをどのような言葉で多くの人々に伝えていくか。とても簡単なことではありませんが、頑張っていました。広島の実情を知り、核兵器撲滅、世界平和に貢献したいと思えた派遣学習でした。

『広島派遣』

我孫子中学校

2年 柴田 侑里

八月に広島へ行き、とても多くのことを学ぶことができました。

『広島派遣中学生として見て感じ体験したこと』

我孫子中学校

2年 大関 未来

私は、広島派遣中学生として広島へ行き、原爆資料館や平和記念公園を見学してきました。そこで、原爆の威力や被害の大きさを目の当たりにしました。改めて命の尊さについて考えさせられ、二度と戦争をしてはいけないと強く感じました。この広島派遣で自分が感じ得た思いを、まずは身近な人から伝え、後世へ語り継いでいきたいと思います。

『自分ごと(own story)』

布佐中学校

2年 山田 北斗

私は今回派遣生として広島に行き、色々な体験をさせていただき、人間とやらっては何となく思いました。原爆一つであんな被害、死者が出たこと、恐ろしい爆弾だということ、世界にはまだまだ皆さんの核兵器が存在しています。私は少しでも早く核はなくさなければならぬと思います。そのため私は人をききつづけ、い

『広島派遣事業に参加して』

湖北中学校

2年 志賀 椋太

僕は、広島派遣に行く前から、原爆のことはテレビで見たり、本で調べたりして、恐ろしい爆弾だということ、世界にはまだまだ皆さんの核兵器が存在しています。私は少しでも早く核はなくさなければならぬと思います。そのため私は人をききつづけ、い

特に印象に残っている場所は、平和記念資料館です。

じめを見たらとめることが私の使命だと思いました。

『平和の尊さ』

布佐中学校

3年 大類 加奈子

私は広島に行き、平和の尊さを改めて感じました。資料館を見たり、被爆された方の体験談を聞いて、今までテレビや本でしか知らなかった戦争について、深く知ることができました。この派遣を通して、平和

平成25年度我孫子市平和事業
中学生が熱く語る
平和への思いを!

企画課・内線211

『広島に行き、思ったこと』

久寺家中学校

3年 原田 美沙紀

広島に行き、見て来た多くの実物資料や被爆者の原爆投下時の話や絵、それが語る当時の状況は、頭に描くだけでも悲惨なものでした。核爆弾への恐怖が一層深まったと同時に、この恐怖をどれだけの人がわかっているのか気になりました。

とは「当たり前」のことが当たり前前にでき、大切な人たちと一緒にいられること」だと感じました。小さなことから少しずつ、次世代を担う私たちが、平和な未来を築いていきたいと強く思いました。

『戦争の恐ろしさ』

久寺家中学校

2年 水嶋 諒

自分が今回広島派遣学習に行き、学んだことの中

で一番衝撃を受けたのは戦争の非情さです。戦争の非情さとは命だけでなく、人々のささやかな幸せや子供たちの健やかな成長をも一瞬にして奪ってしまいます。

『広島へ行って...』

湖北台中学校

2年 古川 歩

広島で見たものは、あまりにも残酷なものでした。原爆が落とされた爆心地から約2キロ以内は全壊、全焼したと聞いたときは驚きました。平和記念式典では、みんなが原爆が無くなる平和な世界を願っていました。そんな中でも核兵器はまだ世界中にたくさんあります。それが早くなくなるように、学校の発表などの機会を活用して「戦争はやってはいけないものなんだ」と、分かってもらえるよう自分の意思を伝えられるようにしたいです。

『広島で感じたこと』

白山中学校

2年 佐藤 琳太郎

僕は広島派遣団員の一人として広島に行きました。広島では平和の尊さについてたくさん学んできました。特に印象に残っていることは、原爆ドームを見た時です。核の恐ろしさ、核兵器の使用を今後一切認めてはいけないと強く感じました。

『広島へ行って学んだこと』

白山中学校

2年 日暮 里音

私は今回広島派遣という貴重な体験を通して、原爆の恐ろしさを知りました。たった一つの爆弾で、何もかも壊れてしまったのです。そして今でも、原爆がもたらした痛みと苦しみが続いています。私たちはもう二度とこのような事を犯さな



撮影：宮角孝雄さん
写真上段左から、柴田侑里さん、大関未来さん、古川歩さん、日暮里音さん、原田美沙紀さん、大類加奈子さん
写真下段左から、山口悦輝さん、佐藤琳太郎さん、志賀椋太さん、来栖健斗さん、水嶋諒さん、山田北斗さん

いたために、この歴史を伝えていく義務があると思います。まだ私に大きな事はできませんが、仲間を大切に、お互いを尊重することから始め、少しでも早く戦争のない平和な世界にしたいと思いました。

楽 我孫子市平和事業 発表会

市内の中学生12人が、広島で学んできたことや感じたことを発表します。また、歌や発表、演劇を通して、子どもたちが平和の大切さを伝えます。

日時 11月10日(日)午後1時開演(0時30分開場)
場所 けやきプラザ・ふれあいホール
内容 オープニング あびこ少年少女合唱団による「アオギリのうた」、
第1部 広島市平和記念式典に参列した中学生による発表
第2部 我孫子中学校演劇部による実話をもとにした劇「夏雲」
費用 無料
定員 500人

「原爆写真」と「市民が描いた原爆の絵」展

日時 11月6日(水)～10日(日) 初日午後1時～、最終日午後4時まで
場所 けやきプラザ・第1ギャラリー
内容 我孫子市原爆被害者の会が所蔵する当時の写真や、広島市平和記念資料館が所蔵する「市民が描いた原爆の絵」を展示します。
企画課 ☎ 71851
1426